

令和5年度
近江八幡市まち・ひと・しごと創生懇話会
事業シート

事業シート

事業名	オープンガバナンス推進事業(老蘇学区)
-----	---------------------

総合戦略における 位置付け	基本目標	(横断的目標1)多様な人材の活躍を推進する			
	施策名	②誰もが居場所と役割を持つ地域社会の実現			
	主な施策内容	(1)全世代・全員活躍型「生涯活躍のまちづくり」の推進			
	重要業績 評価指標 (KPI)	該当するKPIなし			
			数値	単位	時期
		基準値			
目標値					

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☒	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ	
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()	
	認定地域再生計画	計画名		近江八幡市オープンガバナンス推進事業		
		☒	市単独	☐	広域連携(県連携)	
	重要業績 評価指標 (KPI)	コミュニティの形成に向けたリアル(対面)での交流機会の実施数				
			数値	単位	時期	
		基準値	2	件	R4年	
		目標値	10	件	R6年	
その他 補助金・交付金	☐					

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項
	1	報償費	69,000	5	委託料	1,629,000	3月補正後の見込額 左記の内、老蘇学区での事業費:委託料 1,583千円
	2	旅費	149,000	6	使用料	55,000	
	3	需用費	136,000	7	工事請負費	489,000	
	4	役務費	113,000	8			
	合計(全体事業費)					2,640,000	
	交付対象事業費					1,809,000	
	交付決定額					1,324,000	

事業の目的	老蘇地区では、住民が主体となり、令和3年3月に老蘇学区まちづくりプランを策定。最期まで地域社会の中で暮らし続けられるまちづくりの推進を目標に4つのアクションプランの推進。 【アクションプラン】 ①「楽しく外出ができる」②「あらゆる世代が気軽に出会い、交流ができる」 ③「若い世代が生き生きと活動ができる」④コミュニティの輪で安心して暮らし続けられる これら4つのアクションプランの内、①と②の具体化を図る。																																																																
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 ○①「楽しく外出ができる」、②「あらゆる世代が気軽に出会い、交流ができる」のアクションを推進。 推進組織である専門部会(名称:YOISYO!!、R3年度設置)でそれぞれ検討、推進。 ○老蘇学区2集落(西老蘇、老蘇NT)にて集落環境点検を実施。 ①楽しく外出ができる R3、4年度はあかこんバス(市民バス)利用促進をテーマに、専門家の講演や乗車体験、利用促進策を検討。 R5年度はあかこんバスの利用促進に加えて、学区単位で取組む互助輸送の事業開始(市事業)に伴い、実施に向けた検討を行った。(部会開催数:6回/年度) [互助輸送の仕組づくり] ・先進地視察(11/29日野町)。事例等を学びながら老蘇学区に合った仕組づくりの検討。 ・集落ヒアリング(5自治会:集落の寄合等に合わせて実施) [あかこんバスの利用促進] ・利用してもらうことをテーマに検討。(実質、互助輸送の検討開始により議論が中断) ②あらゆる世代が気軽に出会い、交流が出来る R4年度に農業が盛んな老蘇学区で「農での繋がり」をテーマにネギの収穫体験イベントを実施。 R5年度も引き続き住民主体によるイベントを開催。 部会開催数:6回/年度 ・目的:農をテーマに旧集落と新興集落との交流を図り、同じ興味を持った者が集えるような自主的な交流の場づくりに繋げる。 ・豆腐づくりイベントを実施(1/27開催)。 →参加者13名(スタッフ除)、アンケート結果については別添参考資料のとおり。 ③集落環境点検の実施 ・目的:自治会単位でのYOISYO!!での活動の見える化、プラン推進の機運醸成。 ・2集落(西老蘇、老蘇NT)にて実施。 ・取りまとめを行い、報告会を開催し意見交換を行った。加えてYOISYO!!活動の経過説明、活動内容のPR、YOISYO!!Aの参画依頼を行った。 【今後の実施予定内容】<R6年度予定>※詳細は3/30に全体会議を開催し、次年度活動の方向性を決定。 ①楽しく外出ができる [互助輸送の仕組づくり] ・引き続き、老蘇学区独自の仕組づくりの検討。(R6年10月運用開始を目標) [あかこんバスの利用促進] ・R6年4月より土曜日運行が開始されるため、これを契機として各自治会に「(仮称)おせっかい誘い人」を委嘱し利用促進を図る。 ②あらゆる世代が気軽に出会い、交流が出来る ・カルチャーセンターの設置に向けた検討。 ③集落環境点検の実施 ・YOISYO!!活動の見える化、プラン推進の機運醸成を図るため、2集落程度で実施。 ④その他 ・地域おこし協力隊を老蘇学区に配置。 ・他のアクションの推進の検討。																																																																
課題	【課題】 [楽しく外出ができる「互助輸送の仕組づくり」] ・法令関係の調整。 [人材確保] ・部会員に若者がいないのが現状。いかにして、若者に参加してもらうかが重要。 ・部会員の顔ぶれがR2年度(プラン作成時)より変わらないため、今後、担い手を探す必要有。 【財源】 ・R6年度が交付金の最終年度となる。 ・継続した交付金の確保は困難であり、住民自らが自主的に事業を展開できるような仕組が必要。																																																																
スケジュール	<table><tr><th colspan="10">R5年</th><th colspan="3">R6年</th></tr><tr><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td></td><td>事務局会議</td><td>学区自治連合会 取組説明</td><td>★委託契約締結</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>日野町視察 (互助輸送)</td><td></td><td>イベント (交流)</td><td></td><td>全体会議</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>集落環境点検 (西老蘇、老蘇NT)</td><td></td><td></td><td></td><td>集落環境報告会 (西老蘇、老蘇NT)</td><td></td></tr></table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可													R5年										R6年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		事務局会議	学区自治連合会 取組説明	★委託契約締結					日野町視察 (互助輸送)		イベント (交流)		全体会議								集落環境点検 (西老蘇、老蘇NT)				集落環境報告会 (西老蘇、老蘇NT)	
R5年										R6年																																																							
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																					
	事務局会議	学区自治連合会 取組説明	★委託契約締結					日野町視察 (互助輸送)		イベント (交流)		全体会議																																																					
							集落環境点検 (西老蘇、老蘇NT)				集落環境報告会 (西老蘇、老蘇NT)																																																						

事業の目的	地域課題が複雑化・多様化する中においても、公共サービスの維持・充実、市民や事業者が主体となる「協働のまちづくり」を一層推進するため、デジタルやデータの利活用等、時勢に合わせた新たなプラットフォームを構築する。																																																																																																																																							
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 ①オープンガバナンスポータルサイトの運用 ・安寧のまちづくりプロジェクトサイトを、令和4年4月より、オープンガバナンスポータルサイトとしてリニューアル。オープンガバナンスの実現に向け、市民と行政が情報共有できる場として、西の湖エコロジーハイクングの開催報告や「チャレンジ!!オープンガバナンス2023」の募集告知等に活用した。 ②デジタルプラットフォーム(LINE)の運用 ・地域社会や市政への参画が難しかった層を含め、誰もが時間や場所を選ばず参加することのできるプラットフォームとして、LINEのオープンチャット機能を用いた意見交換の場を設置し、実証実験を経て、令和4年8月より本格運用を開始。 参加者数:実証実験(令和3年12月～令和4年1月)87名 本格運用(令和4年8月～)68名(令和6年2月15日時点) ③その他付随する取組 (令和4年度) ・LINEオープンチャットにおけるアイデアをもとに、令和4年10月22日(土)、「近江八幡市ゆるスポーツ大会」を開催。企画段階から当日の運営に至るまで、市民有志と行政による協働が実現した。その他、市民参加による「特色ある公園づくりワークショップ」を計2回開催し、現状の課題を挙げながら理想の公園について意見交換し、様々なアイデアが生まれた。 (令和5年度) ・令和6年3月6日(火)に西の湖プラットフォーム、令和5年8～12月には安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ(内容:西の湖編、城下町編 各2回、実施課:安土未来づくり課)を開催。コミュニティの形成に向けたリアル(対面)での交流機会を創出し、今後に繋がるネットワークを構築に繋がった。 【今後の実施予定内容】 ・本市が推進するオープンガバナンスとは、協働のまちづくりのツールの一つであり、行政主導から市民との協働への転換を図るものであることから、デジタルと対面、双方のメリットを活かした統合的な課題解決を目指す、引き続き、オープンガバナンスポータルサイトやまちのコイン等を活用した情報発信及びコミュニティ創出に努める。 ・令和6年度については、西の湖関連事業をオープンガバナンス推進事業に引き継ぐ形で、環境や健康に配慮したモデル事業やプラットフォームの構築・推進を行うとともに、コミュニティエリア将来デザイン検討事業における手法の導入など、庁内の連携強化(実施課の拡大)を進めていく。																																																																																																																																							
課題	・デジタルプラットフォームの一つであるLINEオープンチャットについては、スマートフォンなど普段から使い慣れたツールを用いて、時間や場所を問わず気軽に参加できる反面、匿名等の理由から、市民主体による意見交換の場とならず、取組の具体化には至らないといった課題がある。また、チェーンメールへの対応など、運用上の課題もある。																																																																																																																																							
スケジュール	<table><tr><th colspan="10">R5年</th><th colspan="3">R6年</th></tr><tr><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td>●●</td><td>●</td><td>(サイト更新)</td><td></td><td></td><td></td><td>→</td></tr><tr><td colspan="13">オープンガバナンスポータルサイト運用</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="13">デジタルプラットフォーム(LINE)運用</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="13">(参考)安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="10"></td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>→</td></tr><tr><td colspan="10"></td><td colspan="3">西の湖プラットフォーム</td><td>●</td></tr><tr><td colspan="10"></td><td colspan="3">オープンガバナンス推進協議会</td><td>●</td></tr></table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可													R5年										R6年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				●			●●	●	(サイト更新)				→	オープンガバナンスポータルサイト運用													→	デジタルプラットフォーム(LINE)運用													→	(参考)安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ													→											●	●	●	→											西の湖プラットフォーム			●											オープンガバナンス推進協議会			●
R5年										R6年																																																																																																																														
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																												
			●			●●	●	(サイト更新)				→																																																																																																																												
オープンガバナンスポータルサイト運用													→																																																																																																																											
デジタルプラットフォーム(LINE)運用													→																																																																																																																											
(参考)安土未来づくりエリア別まちづくり方針検討ワークショップ													→																																																																																																																											
										●	●	●	→																																																																																																																											
										西の湖プラットフォーム			●																																																																																																																											
										オープンガバナンス推進協議会			●																																																																																																																											

事業シート

事業名	関係人口創出事業(県連携:かかわりファクトリー滋賀推進協議会)
-----	---------------------------------

総合戦略における 位置付け	基本目標	(2)新しいひとの流れをつくる			
	施策名	①定住促進と市の魅力発信			
	主な施策内容	(1)近江八幡の魅力づくりと発信			
	重要業績 評価指標 (KPI)	本事業に直接関連するKPI設定はなし			
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☐	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名			
		☐	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績 評価指標 (KPI)				
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			
	その他 補助金・交付金	☐			

決算(見込)		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項 (用途) ラミネートフィルム購入
	1	消耗品費	4,182	5			
	2			6			
	3			7			
	4			8			
	合計(全体事業費)					4,182	
	交付対象事業費						
	交付決定額						

事業の目的	デジタル技術の活用により多様な体験価値を提供することで、「地方に関心を寄せる方々」を効果的に本市に誘引し、新たな関係人口の創出や移住の促進につなげる。														
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 《かわかりファクトリー滋賀推進協議会》 ①情報発信デジタルプラットフォーム「SMOUT」、②デジタル地域コミュニティ通貨「まちのコイン」の導入・運用を主な目的とする組織であり、滋賀県を事務局として県内自治体で構成される。 それぞれの導入・運用経費は、デジ田交付金を活用することで滋賀県が全額負担。 〔SMOUT〕 移住や地域との関わりを希望する人と、地域とをマッチングする登録制移住スカウトサービス。 本市が持つ4アカウントを、市役所以外に地域のキーマンに付与することで、行政ではカバーしきれない地域の現場からの情報発信を行っている。 ●令和5年度掲載プロジェクト数 5件(地域おこし協力隊募集、「まちのコイン」を活用したイベント案内など) 〔まちのコイン〕 法定通貨との換金性はなく、「体験」を通して地域内のコミュニティを活性化することで、地域のファンを増やし、地域の回遊を促すコミュニケーションツール。 本市では、商店を中心にスポット開拓することでまち歩きを促し、自らが住むまちの魅力に触れる機会を提供することに注力しており、令和5年度は商店街や商工会議所、子育て支援団体などと連携した各種イベントを実施した。 ●登録スポット数(令和6年3月10日時点) 滋賀県全体:661スポット(うち、近江八幡市:156スポット/23.6%) ●ユーザー数(令和6年3月10日時点) 滋賀県全体:12,445人 【今後の実施予定内容】 〔SMOUT〕 プロジェクト掲載件数の増加を目的として、専属ライターを配置(費用は滋賀県負担)。 2件/月(年間24件)のプロジェクト掲載をボーダーラインとして、情報発信を強化する。 〔まちのコイン〕 ・これまで手薄となっていた地縁団体やNPO・市民団体などのスポット登録を促し、まちづくりにおける各種分野との連携を強化する。 ・「滋賀県中小企業団体中央会」において、県内商店街振興組合向け補助金の採択要件に「まちのコイン」の活用が位置付けられる予定。商店街との連携を一層深め、まち歩きによる回遊促進を図る。														
課題	〔SMOUT〕 プロジェクト掲載数が少なく、ツールを最大限活かし切れていない。 次年度は、専属ライターとの連携に加え、庁内各課への周知を強化し、各まちづくり分野での有効活用を図る。 〔まちのコイン〕 提供される体験の大半が、登録スポットや開催イベントの周知・広告に留まっており、市民がまちのことを「知る」機会は提供されているものの、体験を通じて地域と「コミュニケーションする」までに至っていない。 スポットへの更なる啓発に加え、魅力的な体験を生み出すためのスポット同士の交流・情報交換の場を設定するなどの対策が必要。														
スケジュール	R5年										R6年				
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	〔SMOUT〕 定期的なプロジェクト掲載														
	〔まちのコイン〕 新規スポット開拓・コインを活用した各種イベント企画														

※既に実施済みの内容を含む
※2月以降は予定で可

事業シート

事業名	沖島離島振興事業
-----	----------

総合戦略における 位置付け	基本目標	(4)ひとが集う、安心して暮らすことできる 魅力的な地域をつくる			
	施策名	⑦地域資源を活用した農山漁村(むら)づくり			
	主な施策内容	(1)沖島と湖魚(料理)の活用 (2)「郷湖(さとうみ)」ブランド・コンセプトによる情報発信			
	重要業績 評価指標 (KPI)	沖島におけるアクティビティの創出			
			数値	単位	時期
		基準値	0	件	令和2年
		目標値	1	件	令和5年

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☐	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名			
		☐	市単独	☐	広域連携(県連携)
		コミュニティの形成に向けたリアル(対面)での交流機会の実施数			
	重要業績 評価指標 (KPI)		数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			
	その他 補助金・交付金	☒	離島活性化交付金		

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	【財源】 離島活性化交付金(国) 1,000千円 県離島振興交付金(県) 1,500千円 家賃 364千円 計 2,864千円
	1	報償費	3,288,000	5	使用料	364,000	
	2	旅費	110,000	6	負担金	43,000	
	3	需用費 修繕料	100,000	7	補助金	3,000,000	
	4	委託料	3,500,000	8			
	合計(全体事業費)					10,405,000	
	交付対象事業費						
	交付決定額						

事業の目的	第2期滋賀県離島振興計画に基づき、「安心して暮らし続けられる沖島」、「琵琶湖の恵みとともに持続可能な沖島」を目指して、島民主体の事業支援や地域おこし協力隊による島内の生業づくり等を通じて、島内経済循環の仕組みづくりと流出人口の抑制・移住者の増加を図り、持続可能な島づくりを行う。 【参考】第2期離島振興計画 基本目標 1:安心して暮らし続けられる沖島 基本目標 2:琵琶湖の恵みとともに持続可能な沖島 目標値:島民人口200人を維持(令和14 年度末時点) ※人口 324人(H25.9月末)→ 238人(R5.9月末)																																																																																																																															
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】H25～ ①沖島町離島振興推進協議会(以下、「協議会」という)が実施する下記の事業への支援(補助金交付) ・空き家利活用事業:島内の空き家を借り上げ、民泊施設、資料館として活用 ・沖島PR事業:おしまるしえの開催、アイランダーへの出展、SNSを活用した情報発信等 ・来島者受入環境整備事業:獣害対策、散策道整備等 ・定住促進事業:高齢者の買い物支援、見守り事業、空家対策事業 ②地域おこし協力隊の配置(H30.3月～ 現在3人目) 湖魚料理創作や、湖魚の魅力、漁師の生業、沖島の暮らしを発信するとともに、協議会が管理する民泊事業の運営や自立化の検討、関係人口・移住者の受入体制の強化を行っており、新たなアクティビティの創出に繋げている。(おしまクリーンサップ、沖島女子旅リトリートツアー(サップ、青空ヨガ)、湖魚BBQ、三輪自転車のレンタル等) ③定住促進住宅の確保:市において2軒の空き家を借上げ、改修を行い、移住者の受入を行っている。 ④その他 ・協議会や滋賀県立大学と連携し、空き家の実測、島民や所有者の意向確認、勉強会の実施等、空家情報の整理や活用方法を検討している。(沖島生活環境改善事業) ・遠隔医療の実証実験やユニクロ出張販売等、島の課題解決に向けて取組んだ。 【成果】 アクティビティの創出 0件(R2) → 4件(サップ、青空ヨガ、湖魚BBQ、三輪自転車レンタル) 移住者数 0人(H25 → 6人(R6.3.1現在) 来島者数 12,800人(H25)→25,924人(R5)																																																																																																																															
課題	【今後の実施予定内容】 医療や交通の充実、漁業の継承や新たな産業と移住・関係人口の創出等、第2期滋賀県離島振興計画に基づき、関係機関と連携しながら計画的に事業を推進する。 ①沖島町離島振興推進協議会が実施する事業への支援(補助金交付) ②地域おこし協力隊の配置(R6～ 数名追加募集予定) ・空き家対策事業の推進、通船事業の発展に向けた検討。 ③定住促進住宅の確保:市において2軒の空き家を借上げ、改修を行い、移住者の受入を行う。 ④その他(沖島生活環境改善事業) ・空き家対策事業(空き家情報一覧の整備、オープンハウス等のモデル事業の実施、空家勉強会・相談会の実施、相談体制の整備) ⑤沖島漁業会館の改修支援(補助金交付) ・令和6年度設計、令和7年度改修工事(耐震補強、レストラン機能の充実)への支援を行う。 ・医療体制について関係者と引き続き協議を行う。																																																																																																																															
スケジュール	離島振興や漁業振興など様々な取組みを行ってきたが、依然として止まらない人口減少と高齢化の進行、主要産業である漁業従事者の減少が大きな課題となっている。 島の主要産業である漁業の振興、高齢者が安心して最期まで島で暮らせる取り組み、移住定住施策を強化する必要がある。そのためには、空き家の活用が必須であり、活用に向けた仕組みづくり検討する必要がある。																																																																																																																															
	<table><tr><th colspan="10">R5年</th><th colspan="2">R6年</th></tr><tr><th>3月</th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td>①●</td><td>●総会</td><td></td><td></td><td></td><td>● 第2回会議</td><td></td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>散策道整備</td><td>資料館オープン</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>おしまるしえ</td><td>アイランダー</td><td></td><td>空家勉強会</td><td></td><td>ごみ拾い</td></tr><tr><td></td><td></td><td>②協力隊の設置(民泊事業、島内団体との連携協力:移住や関係人口の受け皿づくり)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td></tr><tr><td></td><td></td><td>任用開始</td><td></td><td>クリーンサップ(OB主催)</td><td></td><td></td><td>リトリートツアー</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td></tr><tr><td>③定住促進住宅の確保(2軒2世帯居住)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td></tr><tr><td>④空家対策PJ</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td><td></td><td></td><td>●</td><td></td><td>● 島民アンケート</td><td></td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ユニクロ出張販売</td><td></td><td>ユニクロ出張販売</td><td>遠隔医療実証実験</td><td></td><td></td><td></td><td>遠隔医療実証実験</td></tr></table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可												R5年										R6年		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	①●	●総会				● 第2回会議		●				●	●	散策道整備	資料館オープン						おしまるしえ	アイランダー		空家勉強会		ごみ拾い			②協力隊の設置(民泊事業、島内団体との連携協力:移住や関係人口の受け皿づくり)										→			任用開始		クリーンサップ(OB主催)			リトリートツアー					→	③定住促進住宅の確保(2軒2世帯居住)												→	④空家対策PJ	●	●	●				●		● 島民アンケート		●	●						ユニクロ出張販売		ユニクロ出張販売	遠隔医療実証実験				遠隔医療実証実験
R5年										R6年																																																																																																																						
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																				
①●	●総会				● 第2回会議		●				●	●																																																																																																																				
散策道整備	資料館オープン						おしまるしえ	アイランダー		空家勉強会		ごみ拾い																																																																																																																				
		②協力隊の設置(民泊事業、島内団体との連携協力:移住や関係人口の受け皿づくり)										→																																																																																																																				
		任用開始		クリーンサップ(OB主催)			リトリートツアー					→																																																																																																																				
③定住促進住宅の確保(2軒2世帯居住)												→																																																																																																																				
④空家対策PJ	●	●	●				●		● 島民アンケート		●	●																																																																																																																				
					ユニクロ出張販売		ユニクロ出張販売	遠隔医療実証実験				遠隔医療実証実験																																																																																																																				

事業シート

事業名	アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業
-----	-----------------------

総合戦略における 位置付け	基本目標	(3)結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
	施策名	②豊かな心身を育む教育の推進			
	主な施策内容	(5)青少年の成長を促す機会の提供			
	重要業績 評価指標 (KPI)	該当するKPIなし			
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☐	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名			
		☐	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績 評価指標 (KPI)				
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			
	その他 補助金・交付金	☐			

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項
	1	報償費	288,000	5	委託料	10,100,000	
	2	旅費	73,000	6	使用料及び賃借料	6,263,001	
	3	需用費	60,000	7			
	4	役務費	36,000	8			
	合計(全体事業費)					16,820,001	
	交付対象事業費						
	交付決定額						

事業の目的	文化や芸術を体験する機会を積極的に創出することで、文化の薫り高いまち、文化芸術創造都市の実現に欠かせない人材の育成につなげるとともに、文化芸術の教養・素養を身につけ、子どもの人生を心豊かなものにする。 【取り組み:①学校連携プログラム ②芸術鑑賞プログラム ③外壁アートプログラム】																																																																																																																																
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 ①学校連携プログラム(アーティスト派遣による学校での文化・芸術体験の機会を確保) 近江八幡市にゆかりのある講師8名を迎え、各芸術分野(文学・美術・音楽・ダンス/身体表現)のスペシャルティーチャーとして市内小中学校6校へ派遣。計45クラス約1500名に対して、ワークショップ形式の特別授業を行った。 ②芸術鑑賞プログラム(舞台芸術に触れる機会の創出) 小学校4～6年生児童を対象に、文化会館大ホールで学年単位による舞台公演を実施。 ●4年生(799名+教諭51人)ミュージカル鑑賞会「新SCRAPもったいないミュージカル」<劇団影法師> ●5年生(803名+教諭48名)伝統文化芸術鑑賞会<倭-YAMATO> ●6年生(787名+教諭47名)音楽鑑賞会<オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ> <楽器講習会> ○沖島小学校沖島太鼓、八幡中学校太鼓部(和太鼓講習会) ○岡山小学校6年生、八幡西中学校・八幡東中学校・安土中学校の各吹奏楽部(楽器講習会) ③外壁アートプログラム(文芸セミナリヨの外壁改修に合わせ、外壁アートを実現) 文芸セミナリヨ外壁アート「未来」の完成披露会として<関係者の集い>を開催。 内容:成安造形大学・宇野君平教授による講評。パイプオルガン・ミニ・コンサート。集合写真撮影。 【今後の実施予定内容】 文化や芸術を体験する機会を積極的に創出することで、文化の薫り高いまち、文化芸術創造都市の実現に欠かせない人材の育成につなげるとともに、文化芸術の教養・素養を身につけ、子どもの人生を心豊かなものにする。 【取り組み:①学校連携プログラム ②芸術鑑賞プログラム ③外壁アートプログラム】																																																																																																																																
課題	・市内在住の特別支援学校在籍児の参加に対して 令和5年度は授業カリキュラムが既に編成されているなかで、市内在住の児童のみを対象として事業に参加することが困難であるため、市内在住の特別支援学校在籍児を対象としていなかった。 芸術鑑賞プログラムの3公演目、県立養護学校と連携を図り、市内から通学する4年生児童や保護者に事業案内を行った。 来年度も、参加方法などを各校と協議し、すべての子どもたちが等しく文化芸術に触れる機会を創出する。																																																																																																																																
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">R5年</th> <th colspan="3">R6年</th> </tr> <tr> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>● 伝統文化芸術鑑賞会(5年生)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>● 音楽鑑賞会(6年生)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>● ミュージカル鑑賞会(4年生)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>● 楽器講習会/和太鼓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>★ 外壁アート写真撮影会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>● 楽器講習会/吹奏楽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td colspan="9">→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="9">学校連携プログラム・ワークショップ</td> </tr> </tbody> </table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可												R5年										R6年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				←→	● 伝統文化芸術鑑賞会(5年生)								←→					←→	● 音楽鑑賞会(6年生)							● ミュージカル鑑賞会(4年生)							←→	● 楽器講習会/和太鼓													←→	★ 外壁アート写真撮影会										←→	● 楽器講習会/吹奏楽										←→	→													学校連携プログラム・ワークショップ								
R5年										R6年																																																																																																																							
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																					
			←→	● 伝統文化芸術鑑賞会(5年生)								←→																																																																																																																					
				←→	● 音楽鑑賞会(6年生)							● ミュージカル鑑賞会(4年生)																																																																																																																					
						←→	● 楽器講習会/和太鼓																																																																																																																										
							←→	★ 外壁アート写真撮影会																																																																																																																									
					←→	● 楽器講習会/吹奏楽																																																																																																																											
			←→	→																																																																																																																													
				学校連携プログラム・ワークショップ																																																																																																																													

事業シート

事業名	体験型事業創出事業
-----	-----------

総合戦略における 位置付け	基本目標	(1)稼ぐ地域をつくる とともに、安心して働けようす稼ぐ地域をつくる			
	施策名	② 商工業の振興			
	主な施策内容	(5)新たな視点によるビジネスの創出支援			
	重要業績 評価指標 (KPI)	年間商品販売額			
			数値	単位	時期
		基準値	146,272	百万円	H26
		目標値	147,000	百万円	R5

補助金・交付金	デジタル田園都市国家 構想交付金	☐	地方創生推進タイプ	☐	地方創生拠点整備タイプ
		☐	デジタル実装タイプ	☐	その他()
	認定地域再生計画	計画名			
		☐	市単独	☐	広域連携(県連携)
	重要業績 評価指標 (KPI)				
			数値	単位	時期
		基準値			
		目標値			
	その他 補助金・交付金	☐			

予算		費目	金額(円)		費目	金額(円)	特記事項
	1	需用費	30,000	5			
	2	負担金補助及び交付金	22,570,000	6			
	3			7			
	4			8			
	合計(全体事業費)					22,600,000	
	交付対象事業費						
	交付決定額						

事業の目的	コト消費ができる施設・店舗を本市に増やすことで更なる来訪者を獲得し、新たな消費傾向に対応した販売チャネル・地域経済基盤の確立・推進し、市外からの来訪者の滞在時間や消費支出の拡大を目的としている。加えて、本市に受け継がれてきた地域資源の体験型事業(コト消費)を促進することで、その地域資源の認知度を高め本市の魅力度向上を図る。																																																																												
事業進捗	【これまでの実施内容(今年度及び関連する過年度実施内容)】 以下の申請枠を設け、補助金を受け付けた。 <一般枠> 市内で新たに体験型事業を実施する場合に対象。 補助率:2/3 上限額:100万円 <地域資源枠> 「一般枠」に加えて、本市を構成する上で不可欠な構成要素の中から「自然」「食」「伝統」のいずれか一つ以上を体験型事業に取入れた場合に対象。 補助率:(R4)2/3 (R5)3/4 上限額:(R4)150万円 (R5)100万円 (地域資源の例)自然:ヨシ小物制作 食:地場産ハンバーガー 伝統:近江牛革を用いた革製品制作 <新規創業枠> 「一般枠」に加えて、創業後3年以内の場合に対象。 補助率:2/3 上限額:150万円 <地域資源・新規創業併用枠> 「地域資源枠」「新規創業枠」のいずれか2つ以上に該当する場合に対象。 補助率:(R4)2/3 (R5)3/4 上限額:(R4)200万円 (R5)150万円 <ブラッシュアップ枠>※R5新設 既に市内で実施している体験型事業であって、磨き上げを行う事により、事業の魅力向上が図れ、参加者数の増加が見込まれる場合に対象。 補助率:2/3 上限額:30万円 <加算要件>申請枠とは別に、補助金の加算要件としてR5に新設体験型事業を本市のふるさと納税の謝礼品に登録する場合、補助金額を5万円加算(各申請枠の上限額は加味しない) ➤審査会を開催し、申請書類への記載項目の他、事業者からの説明や質疑応答により、採択可否について審査を行った。 <採択件数> 令和4年度…8件 令和5年度…9件																																																																												
	【今後の実施予定内容】 R6年度は新たな申請枠として、「早朝・夜間枠」を新設予定。 内容は、早朝(概ね9:00まで)または夜間(概ね18:00以降)に、その時間帯の特性を活かした体験型事業を実施する場合に対象となる。 補助率:3/4 上限額:150万円 それに合わせて、「地域資源・新規創業併用枠」を「併用枠」とし、申請要件を、「新規創業枠」「地域資源枠」「早朝・夜間枠」のいずれか2つ以上を併用する場合に対象とする。 補助率:3/4 上限額:(いずれか2つ)150万円、(3つ全て)200万円 R7年度またはR8年度には、事業者同士のコラボレーションを促す申請枠を追加予定。																																																																												
課題	・事業終了後の動向 R4年度からの新規事業であり、事業終期をR8年度としている(債務負担行為等でR7年度以降の予算を確保しているわけではない)が、本事業の終了以降も、事業者が新たな体験型事業を生み出すことを期待している。消費者のトレンドに左右される部分もあることは否めないが、補助金事業が終了しても「体験型事業」の熱が冷めないようにしたい。 ・事業者の努力に依存する部分がある 本事業に限らず当課の業務全般に言えることではあるが、当課は事業者に対する支援を行う部署であるため、設定した目標値が一般市民や一般消費者に関わるもの(本事業では、一般消費者の滞在時間や消費額の拡大が目的)である場合、事業の成果が目標に直接結びつくわけではない(事業者の取り組み具合にも左右される)ため、効果があったのか判断しづらい。																																																																												
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">R5年</th> <th colspan="3">R6年</th> </tr> <tr> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>← 受付(第1次)</td> <td>← 受付(第2次)</td> <td></td> <td>← 受付(第3次)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">← 次年度以降の内容検討 →</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>● 審査会(第1次)</td> <td></td> <td>● 審査会(第2次)</td> <td></td> <td>● 審査会(第3次)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>● 実績報告受付(第1次)</td> <td></td> <td>● 実績報告受付(第2次)</td> <td></td> <td>● 実績報告受付(第3次)</td> </tr> </tbody> </table> ※既に実施済みの内容を含む ※2月以降は予定で可												R5年										R6年			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				← 受付(第1次)	← 受付(第2次)		← 受付(第3次)				← 次年度以降の内容検討 →							● 審査会(第1次)		● 審査会(第2次)		● 審査会(第3次)													● 実績報告受付(第1次)		● 実績報告受付(第2次)		● 実績報告受付(第3次)
R5年										R6年																																																																			
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																	
			← 受付(第1次)	← 受付(第2次)		← 受付(第3次)				← 次年度以降の内容検討 →																																																																			
				● 審査会(第1次)		● 審査会(第2次)		● 審査会(第3次)																																																																					
								● 実績報告受付(第1次)		● 実績報告受付(第2次)		● 実績報告受付(第3次)																																																																	